

京都教区時報

京都教区広報委員会
 編集長 村上透磨
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075 - 211 - 3468
 FAX 075 - 211 - 4345
 kouhou@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2頁～3頁 カリタス会 施設紹介 (京都聖嬰会)

4頁 魅力ある教会って?? (大和高田教会)

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
 ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
 TEL・FAX 0794 - 31-8601

2014年 司教年頭書簡 神の「貧しさ」を生きる

4. キリストのように貧しくなる

今月のテーマで、年頭書簡は語ります。「キリストは貧しさに対して自由だった。」つまり、貧しい人と関わることにこだわりがなかった、ということでしょうか。

また、イエスは十字架上で貧しさを愛の模範として示されましたが、「貧しさをほころ」ことはありませんでした。イエスの貧しさは、「その程度よりも、その理由を重視すべきである。」その理由(動機)は「愛と救いのためである。隣人愛に駆られて貧しさを優先的に選択して実践した。」というのがこのテーマの主旨なのでしょう。

このことを述べるために、いくつかの聖書の箇所が引用されていますが、その箇所をいわゆる聖書の構造的読み方に従って、見てみましょう。(尚、困り込みをした言葉が目的を表す)

先ず、「神は人間と完全に結ばれるために貧しくなられました」と述べて、いくつかの聖書の箇所を引用します。

↓キリストは「神」(でありながら)
 (フィリ2・6)

↓救うため

↓最も貧しくなられ (ルカ2・7)

↓貧しく生き (マタイ13・55)

↓貧しく宣教し (マタイ8・20)

↓最も小さくなられ (マタイ25・40)

↓最も貧しく死んだ

↓「神の子」(である) (マタイ27・54) と語る

次に、キリスト讃歌 (フィリ2・6～11)

(フィリ2・1～18を読むことを勧めます)
 キリストは神：でありながら (6節)

↓(イエスは自分自身を)空っぽにした(7節)

↓僕の姿を取り人間となった(受肉の神秘)

↓(イエスは自分自身を) 低くした(8節)

↓十字架の死に至るまで(十字架の神秘)

↓(神は彼を)極めて高く上げた(復活9節)

↓(神は彼に)恵み深く)与えた(栄光9節)

↓神と貧しさを究めたキリストの連帯が人間の

↓礼拝と救いを実現した(10・11節)

次に、ヨハネ15・13

↓命をすてる

↓友のために (十字架上の愛の奉献)

↓最も大きな愛

↓(キリストが貧しくなられた最も大きな理由)

最後に、Ⅱコリント8・9は

↓主は豊かであったが

↓貧しくなられた

↓あなた方のために(貧しくなられた理由)

↓主の貧しさによって

↓あなた方が豊かになるために

↓となります。

(村上透磨)





京都聖嬰会は、明治10年に「幼きイエズス修道会」創立者である「メル・アンチェ」の命により来日した修道女の方々が、身寄りのない子どもたちのお世話を始められたのが起こりで、明治19年に京都市中京区六角烏丸西入るに、今の京都聖嬰会の前身となる女子教育院が創立されました。

そしてその後、昭和23年に養護施設として認可を受け、河原町三条での和洋衣笠の地にて運営を開始しました。

現在55名定員で、家庭の様々な事情により、家族と共に生活することが出来ない、3歳から18歳の子どもたちが生活を共にしています。

施設紹介

社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会

児童養護施設 京都聖嬰会

《京都聖嬰会の願い》

キリストの教えに根ざして、児童一人ひとりをありのままに受け入れ、かけがえのない存在として

- 一人ひとりと尊敬のうちに会おう
- 一人ひとりの自立と進路の保障を願う
- 一人ひとりとともに生き
- 一人ひとりとともに歩む

〔基本理念〕

一人ひとりを大切にする
わたしたちは

- 一人ひとりの人権を大切にします。
- 一人ひとりの自立を援助します。
- 一人ひとりの家族との関わりを大切にします。
- 一人ひとりが地域社会の一員であることを大切にします。

〔運営方針〕

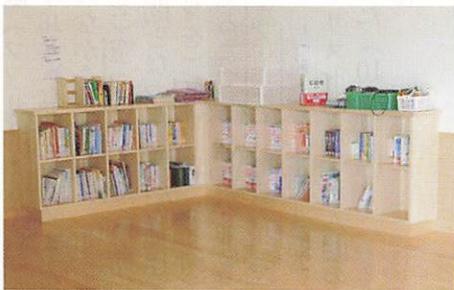
取り組みの重点は
わたしたちは

- 一人ひとりの心の居場所づくりを進めます。
- 一人ひとりの基本的な生活習慣の確立を図ります。
- 学習習慣の確立、学習支援を進めます。
- 子どもたちの自立支援、進路の保障を推進します。
- 保護者、家族との関わりを深めます。

入所中の子どもたちは、それぞれ地域の学校に通い、家族再統合を目指しながら日々元気に生活しています。

長い間、大部屋での共同生活でしたが、3年前の大規模改修で各部屋がキッチンや浴室と個室を備えたユニット形式の造りに生まれ変わり、子どもたちそれぞれのプライベートの空間を確保することができました。

日常の生活では、学習、環境美化など各種ボランティアの方々と地域、学校など幅広い方々からの支えの元で安定した日々を送っており、年間行事としては海水浴やキャンプ、地域の方々をお招きして行っている



聖嬰会まつりから、冬のスキーまで、様々な特別活動も行っています。

また、他の福祉事業としては短期間の臨時受け入れとして、ショートステイ事業など、地域の子育て支援事業も行っており、児童福祉の専門機関として、広く地域の子育て支援活動の一端も担っています。

18歳で園から自立する子どもたちの進路保証という大きな課題は抱えています。自立支援を目的に多くの方々から寄せただく寄金に支えられ、皆しっかりと自立に向けて努力を重ねることが出来ていることは、大変有難いことです。

これからも多くの方々の見守りと支えの中、幸せで充実した日々が送れることを心から願っています。

京都済州姉妹教区交流委員会

済州教区「アボジハッキョ（お父さん学校）」のお父さん来訪

去る2月13日～16日の間、済州教区の家庭司牧担当司祭のホ神父様と、「アボジハッキョ」で研修しているお父さんとスタッフのシスター、総勢11人が京都教区を訪問、14日には大塚司教・済州教区から来ておられるブ師・チェ師・キム師3名の神父様と河原町教会のお父さん4

名を交えて交流、分かち合いをしました。「アボジハッキョ（お父さん学校）」というのは、済州教区で2005年に始められた事業です。具体的には、「お父さん学校」の開校で、家庭崩壊の予防と共に、家庭内でのお父さんの役割・意識を高めるために奉仕者を養成するワークショップを始められました。学校では家族との関係、子供たちとの関係、妻との関係、お父さんとしての自分、これからお父さんの役目、といったテーマで研修します。

何故「お父さん学校」なのでしょう。

済州道（チェジュド）は、昔から三多島とも呼ばれ、石、風、女性が多いと伝えられています。それは、主な生活手段であった漁業などは男性の仕事で、漁に出て遭難し帰って来ないことが多く、男性不在に耐えながらの生活の中で女性の生活力が強くなったことに由来しているそうです。

現在でも女性の就労人口も、韓国全体の51・3%に対し、チェジュは60・1%と一番高く、また、平均寿命は男性77・6歳、女性86・1歳で、その差は韓国で一番大きい。このような歴史的・環境的原因から、男性は無意識の内に『チェジュの女性は生活力が強い』と感じ、女性が家庭内で主導的な立場に立っているほど男性の受けるストレスが多い。そこで、お父さんの家庭内での役目・

お父さんとしての意識を高め、健康な家庭が作られることを願って、「お父さん学校」を始めることになったそうです。

済州教区の方々との集いに参加して

河原町教会 村井 政一

今回ご一緒させて戴いた済州教区のお父さん方からお話しをお伺いして、済州の歴史的なことや現状など、初めて知ったことがたくさんありました。そして、私の心に強く残ったことがあります。それは、済州のお父さん方は家族を島に残して本土へ働きに出ておられる方が多いという話題でしたが、「いつも、どこにいても、常に神様に護られている」という強い安心感を持っておられると感じたことです。そのためか、非常に明るい雰囲気でした。私自身、自分の知らない信仰生活を省み、今一度考える、良い機会を与えられたと感謝しております。ありがとうございました。



シリーズ
小教区

魅力ある教会って?? (大和高田教会)

―開かれた教会をめざして!―

私たち大和高田教会は、2011年10月21日に創立60周年を迎えました。同年の4月、創立以来、この大和高田で司牧して下さっていたマリスト会が、日本での活動に終止符をうたれて、早や3年となりました。

今は、教区共同宣教司牧となり、昨年より東京教区の福島神父が司祭館にお住まいになり、奈良地区長の瀧野神父、ランドン神父と共に、奈良南部4教会を司牧して下さっています。また、大和八木教会にお住まいのカルメル修道女会 Sr.リーナ・ファラスにも信仰講座、教会学校などで、ご指導いただいています。



聖堂名「旅路の母」の聖母子像

す。

立地は近鉄高田市駅徒歩5分位の駅近で、道を隔てて県立高田高校が隣接。教会の敷地内に、高田カトリック幼稚園があり、教会内にボーイスカウト、ガールスカウトの隊もあり、教会に馴染んでくれています。

また、県内の教会行事、右近こどもまつり、ウォーカソンや、奈良ブロック研修会、チャペルコンサートなどに、積極的に参加し他教会の信徒との交流も活発に行われています。

大和高田教会の活動としては、福祉部が主になり廃品回収、バザーなどを行ってその収益金や物品を福祉施設に寄付する活動を行っています。教会学校の子どもたちも高校生が中心になって、小学生、幼稚園の子どもと共に、教会学校黙想会の参加や侍者奉仕など、元気に活動しています。昨年2人の高校生が、大船渡でのボランティア活動に参加し、体験したことを教会のみんなに分ち合ってくれ、共有することが出来ました。また、創立時より、ガーデン(薬物依存症治療回復リハビリ施設)の支援に取り組み、例会等が教会で行われています。

この教会の魅力はなんだろう? それ

はマリスト会の神父様の明るく優しい、アットホームな雰囲気、それぞれの信徒が引き継いでいることではないかと思えます。

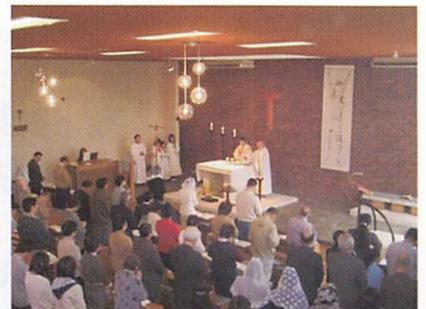
今では、平日はいつも聖

堂の扉が閉まったままの教会となり、物理的にも閉ざされた教会となっていてます。まずは、司祭館にある受付から聖堂入口に受付を変更、信徒が交替で常駐し、本当の「開かれた教会」になるよう第一歩を踏み出しました。

大和高田教会60年の歴史を糧に、今までの魅力を継承し、司牧チームのもと、教会共同体の担い手になれるよう活動して行きます。

終わりに、今回、大和高田教会が教区時報「魅力ある教会って?」に掲載されることになり各部会などで信徒みんなが、大和高田教会の魅力とこれからの見直し、分かち合いの機会を頂いたのは、大きな恵みであったと思います。

カトリック大和高田教会



福知山教会新聖堂 聖テレジア幼稚園新園舎建築

京都教区では、2009年の「小教区適正配置についての方針」に従って、京都北部地区の宮津ブロックの6教会（宮津・加悦・岩滝・丹後大宮・峰山・網野）、舞鶴ブロックの福知山エリアの丹波3教会（福知山、報恩寺、綾部）、京都南部地区の4ブロックは、福音宣教をより一層推進していくために、小教区適正配置について取り組んでいます。その取り組みの話し合いの結果、福知山・報恩寺・綾部の3小教区は、統合して1小教区1聖堂となることとなりました。

一方で福知山にある京都北カトリック学園聖テレジア幼稚園の移転計画があり、これと合せて検討してきました。昨年には、山陰線福知山駅前に適地を得て建設用地として購入し、準備を進めてきました。このほど、建築会社も決定し、建設がスタートしました。

福知山教会と、同時に移転新築される聖テレジア幼稚園は、一つのカトリック共同体として整備され、敷地の南端に教会が、北端に幼稚園の建物が並んで建てられます。建物の屋根は、福知山市内から周囲に望む山々をイメージした形でデザインされています。また、福知山盆地が山々に守り囲まれているように、ゆるやかなカーブを描く二つの建物の壁面によって囲まれた教会の広場と幼稚園の園庭は、ここに集う人々が安心して活動できる「共同体の庭」となります。二つの建物は鉄筋コンクリート造りで、統一されたイメージを実現するために共通した素材が使われます。

聖堂は現在の3教会の信徒の皆さんが余裕をもって集まれる大きさとなり、高齢の方々も安心して使用できるように配慮されています。また、少人数での礼拝のための小聖堂も併設されています。完成は2015年1月末の予定です。工事が安全に進められ、無事に完成するようお祈り下さい。

2月14日起工式の日を迎えて

新教会合同建設委員会

福知山盆地に雪が舞いちらる寒い寒いでしたが、大塚喜直司教様司式により、カトリック福知山教会新聖堂、聖テレジア幼稚園新園舎の起工式が、式次第に従って喜びの内に始まりました。典礼、土地の祝福、塩の祝福、くわ入れと進み、司教様から「新しい聖堂、新しい園舎を喜ぶだけではだめですよ。あなた自身の中にある教会を見つめ育んでください」と。私たち信徒は「古い皮袋から新しい皮袋」へのみ言葉を新たに心にさざみしました。この日を迎えるにあたり尽力された建築主、カトリック京都司教区、京都北カトリック学園、設計監督、ディーディーティ1級建築士事務所、施工、藤木工務店様に感謝いたします。三輪神父様とともに3教会信徒一同、3

月から工事をしてくださる方々の安全を願って祈りつづけます。

2009年10月2日報恩寺教会において3教会（綾部、福知山、報恩寺）の信徒が一堂に集まり、司教様から「適正配置と



起工式くわ入れ

統合についての指針」を受けました。福音宣教の拠点として、特急が停車する駅の近くに、教会と幼稚園が同じ敷地内に、の条件を胸に皆が土地探しに訪ね歩きまわりました。駅からだんだん離れて行くばかりで希望通りの土地がなかなか見つかりませんでした。：十字架の道行において神父様とともに皆が「主よ、どうか土地を」祈りが続けられました。そこに1人の信徒の方が福知山駅南に公示前の土地を見つけられて、2011年3月18日、十字架の道行が終わって教会から2名、幼稚園から1名と井上武神父様とともに下見に行き、車中にて相談し、幾つかの条件に適合、市役所にて建築規制がないか確認後、司教区に一報し、2011年3月23日、司教様の来福の結果、教区の希望される条件に適合しているの購入に向かって歩みが始まったことを忘れてはなりません。

感謝と喜びのうちに「ハレルヤ」

2013年度カトリック京都司教区 決算報告

いつも、京都司教区のために、ご支援ご協力頂き、有難くお礼申し上げます。

2013年度(2013年1月1日から12月31日まで)の、京都司教区の法人本部並びに小教区会計(合算)の収支について、主な点をご説明します。収支の内容については、別表をご参照下さい。

教区本部会計について

今年度の決算は、収入合計額は364百万円、支出合計額は363百万円となりました。以下、収入・支出の主な点をご説明します。

1. 支出について

福音宣教活動費のうちのアジア交流費は、済州教区からの神学生の研修受入れ・中学生の広島平和巡礼への参加など、活発に行われている済州教区との交流に伴う費用です。今年度は河原町・彦根・草津・伊勢教会でのエレベーター工事や聖堂改修工事、カトリック会館の配管工事等が行われました(資産支出)。当該費用を建設分担金として納付して頂いています。土地は精華教会の敷地内にあった水路を精華町から買い取ったものです。建設仮勘定支出は、現在進めている福知山・鈴鹿教会の建設に係る支出で、完成まではこの科目で経理処理します。

2. 収入について

収入の51%は建設分担金を含む納付金収入によりますが、それ以外の主なものは、亀山教会の跡地売却収入や預金利息収入・臨時収入のあった収益部門からの寄付金などです。宮津教会へご遺贈として300万円頂いており、これは小教区特定積立として保有しています。

3. 大船渡特別献金として多額の献金を頂きました。感謝してご報告いたします。

小教区会計について

1. 教会維持献金とミサ聖祭献金の合計額は、217,625千円でした。これは昨年の220,845千円より3,220千円の減額となりました。

このため、教区納付金(A)として、教会維持献金とミサ聖祭献金の15%を納めていただいておりますが、今年度は32,876千円で、昨年度の33,026千円に比べて、150千円の減額となりました。

2. 納付金(B)につきましては、趣旨をご理解下さり予算通り納入して頂きました。

経済状況厳しい折り、教区財政安定のため、皆様の一層のご協力をお願い致します。

2014年4月
カトリック京都司教区
本部事務局長 北村善朗

京都司教区 2013年度 教区本部会計収支計算書

自2013年1月1日 至2013年12月31日

(単位：千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
I 経 常 支 出	224,709	I 経 常 収 入	285,965
1 福 音 宣 教 活 動 費	64,169	1 納 付 金 収 入	186,463
祭 儀	1,031	司 教・司 祭 司 牧 納 付 金	11,925
教 育 養 成 費	2,830	小 教 区 納 付 金 (A)	35,827
神 学 生 養 成 費	5,644	小 教 区 納 付 金 (B)	73,942
諸 委 員 会 活 動 費	5,724	小 教 区 納 付 金 (C)	18,368
教 区 事 業 活 動 費	45,739	小 教 区 納 付 金 (D)	1,174
諸 活 動 団 体 補 助 金	50	福 音 宣 教 協 力 金	3,542
ア ジ ア 交 流 費	1,575	建 設 分 担 金 収 入	41,685
国 際 交 流 費	489		
会 議 費	1,051		
図 書 費	36		
2 寄 付 金 支 出	60	2 寄 付 金 収 入	72,787
		一 般 寄 付 金 収 入	2,643
3 特 定 献 金 支 出	10,982	収 益 部 門 収 入	70,144
		そ の 他 の 寄 付 金	0
4 人 件 費	104,229		
5 維 持 管 理 費	13,405	3 特 定 献 金 収 入	10,982
6 事 務 管 理 費	14,266	4 福 音 宣 教 企 画 室	192
7 福 音 宣 教 企 画 室	2,057	5 大 船 渡 特 別 献 金	15,541
8 大 船 渡 特 別 献 金	15,541		
II 墓 地 勘 定 支 出	6,470	II 墓 地 勘 定 収 入	8,080
墓 地 管 理 費	2,392	墓 地 使 用 料 収 入	2,300
墓 苑 整 備 費	4,078	墓 地 祭 儀 収 入	5,780
III 特 別 勘 定 支 出	21,387	III 特 別 勘 定 収 入	21,906
一 粒 会	0	一 粒 会	16,375
一 万 匹 の 蟻	1,387	ア ジ ア 基 金	701
聖 堂 修 築 積 立 金	0	一 万 匹 の 蟻	1,387
建 設 資 金 積 立 金	20,000	国 際 協 力 基 金	443
		小 教 区 特 定 積 立	3,000
IV 資 産 支 出	110,620	IV 資 産 運 用 収 入	47,097
土 地	2,668	預 金 利 息 収 入	13,257
建 物	18,893	土 地 売 却 収 入	33,800
建 物 付 属 物	27,527	資 産 売 却 収 入	40
構 築 物 品	1,595		
什 器 備 品	315		
車 両	2,576		
福 音 宣 教 基 金	0		
建 設 仮 勘 定	57,033		
そ の 他	13		
V そ の 他 の 支 出	0	V そ の 他 の 収 入	1,232
支 出 計	363,186	収 入 計	364,280
当 期 収 支 差 額	1,094		
支 出 合 計	364,280	収 入 合 計	364,280

京都司教区 2013年度 小教区会計収支計算書

自2013年1月1日 至2013年12月31日

(単位:千円)

科 目	実 績	科 目	実 績
経常支出の部		経常収入の部	
(宣教司牧費)	71,753	(信徒通常献金)	231,656
祭 儀 費	17,651	教会維持献金	171,971
司 牧 費	2,583	ミサ聖祭献金	45,654
委員会活動費	2,241	大祝日(特別)献金	14,031
宣教広報費	2,038	(特定献金)	15,698
宣教育成費	534	(特別献金)	121,936
養 成 費	1,168	祭 式 献 金	19,286
青少年育成費	3,525	一 般 特 別 献 金	52,478
新聞図書費	1,967	営 繕 献 金	14,670
会 議 費	546	建 設 献 金	28,438
行 事 費	6,674	墓地納骨堂建設献金	110
慶 弔 費	3,302	特別事業献金	6,954
援 助 費	17,971	(助成金収入)	540
諸団体分担金	11,553	教 区 助 成 金	540
(特定献金支出)	15,996	修 道 会 助 成 金	0
(納付金支出)	133,386	(墓地・納骨堂等収入)	5,168
教区納付金支出(A)	32,876	使 用 料 収 入	973
教区納付金支出(B)	67,232	墓 地 祭 儀 収 入	4,195
教区納付金支出(C)	16,908	(補助活動収入)	610
教区納付金支出(D)	1,195	(雑 収 入)	2,655
修道会納付金支出	360	(資産運用収入)	807
建設分担金支出	14,815	預 金 利 息 収 入	526
(運営管理費)	132,999	受 取 配 当 収 入	121
(補助活動支出)	137	信 託 利 子 収 入	160
(墓地・納骨堂管理支出)	1,642		
経常支出合計	355,913	経常収入合計	379,070
財務支出の部		財務収入の部	
(固定資産支出)	55,817	(固定資産収入)	24,359
建物付属設備購入支出	7,578	祭儀備品売却収入	0
構築物購入支出	6,739	墓地使用権売却収入	0
祭儀備品購入支出	1,596	投資信託売却収入	0
器具備品購入支出	2,396	特別目的預金取崩収入	24,359
有価証券売却原価	0		
特別目的預金積立支出	37,508		
(その他の財務支出)	11,551	(その他の財務収入)	7,190
(資金調整勘定)	▲2,513	(資金調整勘定)	▲524
財務支出合計	64,855	財務収入合計	31,025
支出合計	420,768	収入合計	410,095
次期繰越金	304,253	前期繰越金	314,926
合 計	725,021	合 計	725,021

5月のお知らせ

教 区

福音宣教企画室 / Tel.075(229)6800

病者高齢者訪問公開講座

「キリストにとっての癒し」

～神様に望まれた人間の健康な状態とは？～

日 時：17日④ 14:00

講 師：浜口 吉隆師(南山大学教授、神言会)

参加費：300円

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ④⑤

聖書講座「神に生かされて」

日 時：14日④ 19:00 15日④ 10:30

テーマ：神の「貧しさ」を生きる

講 師：大塚 喜直司教

日 時：28日④ 19:00 29日④ 10:30

テーマ：人祖アダム

講 師：西 経一師(神言会)

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

よく分かる聖書の学び

日 時：21日④ 10:30

講 師：北村 善朗師

会 場：河原町教会 ヴィリオンホール

参加費：300円

ブロック

奈良ブロック協議会

聖書講座

「神の限りない愛と神の民としてのふさわしい生き方」

日時会場：9日⑤ 19:00 大和八木教会

10日④ 10:00 奈良教会

テーマ：①各書の主題②背景③構造、文脈

講 師：山下 敦師(大分教区)

日時会場：23日⑤ 19:00 大和郡山教会

24日④ 10:00 奈良教会

テーマ：出発準備

講 師：クエンジ・ダニエル 師(淳心会)

修 道 会

聖ドミニコ女子修道会(京都修道院)

Tel.075(231)2017 Fax.(222)2573

ロザリオを共に祈る会

日 時：16日⑤ 10:30～12:00

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

キリスト教霊的同伴(松田 浩一師)

日 時：3日④ 20:00～6日④ 15:00

限 定：10人(要問合せ)

水曜黙想(松田 浩一師)

日 時：14日④ 10:00～16:00

テーマ：キリストの教え(神の救いの御計画)

参加費：2,700円(昼食代他)

一般のための黙想(松田 浩一師)

日 時：24日④ 17:00～25日④ 16:00

テーマ：キリスト教の人間共同体

参加費：6,500円(昼食代他)

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：11日④ 14:00/24日④ 18:15 ミサ奉仕後
カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：8日④/22日④/29日④ 10:00
カトリック会館6階

子羊会：黙想会

24日④ 10:30～、16:00～ミサ

指 導：溝部 脩司教

場 所：衣笠教会

聴覚障がい者の会

13日④ 11:00～14:00 手話ミサと交流会

参加費：700円(昼食費)

会 場：カトリック会館6階

事前申込要 Tel・Fax.077(573)6036(亀岡)

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「イエスともだち」

出演は森田 直樹師(仙台教区へ派遣)

ラジオ(KBS京都) ④～④ 朝5:15

5月のテーマ「愛の実践」

京都カナの会

6月1日④ 13:30 例会 カトリック会館6階

ノートルダム教育修道女会 修道院閉鎖のお知らせ

高木町修道院 京都市左京区下鴨西高木町12

清水町修道院 京都市左京区高野清水町38-6

2014年3月31日をもって閉鎖

京都教区サポートセンター

東日本大震災「大船渡支援」献金報告

3月分 1,446,593円/累計 39,716,903円

※ 7月号の原稿締切り日は5月28日④です。

大塚司教の

5月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日(木)-5日(日) 安心院トラピスチン修道院
訪問
- 4日(日) 9:30 大分教会 ミサと高山右近講演
- 8日(木) 10:00 中央協 常任司教委員会
- 11日(日) 10:00 宮津ブロック司教訪問
ガラシア祭ミサ(宮津)
- 13日(火) 14:00 青少年委員会
- 14日(水) 14:00 (学法)滋賀カトリック学園
理事会
19:00 教区聖書講座(河原町)
- 15日(木) 10:30 教区聖書講座(河原町)

- 16日(金) 14:00 メリノール女子学院 理事会
- 17日(土)-18日(日) 第2回 大阪教会管区
青年の集い
- 19日(月) 14:00 司教顧問会
- 20日(火) 14:00 (社福)カトリック京都司教区
カリタス会 理事会
- 21日(水) 14:00 (学法)カトリック京都教区学園
京都南カトリック学園 理事会
- 22日(木) 10:00 草津カトリック幼稚園 講演会
- 23日(金) 「求道者に同伴する信徒」の
養成講座まとめ(河原町)
- 24日(土) 11:30 京都聖母学院
同窓会創設60周年感謝ミサ
- 24日(土)-28日(水) 札幌訪問
- 25日(日) 北一条教会ミサと高山右近講演

青年センター 新年度運営委員挨拶

<京都北部地区>

西舞鶴教会 小林 真衣
京都北部運営委員の小林真衣です。青年センターでみんなが楽しく活動できるように、わたしも楽しんで活動していきます。

西舞鶴教会 小林まなつ
京都北部の運営委員になった小林まなつです！ 京都教区&北部を盛り上げていきたいと思ひます♪よろしくお願ひします☆

<京都南部地区>

八幡教会 田川愛美子
今年も京都南部でやらせてもらう、八幡教会田川愛美子です。去年はあんまり活動できなかったので、今年はずっとがんばりたいです！

九条教会 松浦 歌織
昨年度に引き続き京都南部の運営委員を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

<滋賀地区>

唐崎教会 木村 哲朗
今年も運営委員の一人として、青年の集いに活気を生み出していくキッカケづくりに努めていきます。よろしくお願ひ致します。

[青年センター-HP] 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

司祭の異動

1. 任命 (4月21日付)

奈良地区奈良ブロック 担当司祭
ホセ・ノレツラ師(フィリピン宣教会)

京都南部地区 協力司祭

キム・テジョン(金泰政)師(済州教区)

三重地区南部ブロック 協力司祭

エドモンド・ヴェルガラ師
(エスコラピオス修道会)

2. 教区外へ転出

ルカ・ホルスティンク師(フランススコ会)
今泉 健師(男子カルメル修道会)
土屋 茂明師(サレジオ修道会)

3. 教区内に転入

谷口 秀夫師(レテンプトール修道会)
武井 アントニオ師(サレジオ修道会)
渡邊 幹夫師(男子カルメル修道会)
中川 博道師(男子カルメル修道会)
窄口 松雄師(男子カルメル修道会)

唐崎教会 山本 優理
滋賀地区運営委員の山本優理です。運営委員なんと6年目を迎えます！ 地区と教区の架け橋としてがんばります！

青年センターあんでな